

2024年 心の健康講座 ご案内

当会の初の試みとして、かつての「入院森田療法」施設にスポットを当てます。その第二弾として「高良興生院」における治療者と入院体験者に語っていただきます。

森田療法の原点である入院森田療法の実際を明らかにし、今後の森田療法の発展に寄与できればと考えます。

またとないこの機会にお誘い合わせのうえ、ぜひお出かけ下さい。

【予約が必要です】

■日時 10月20日(日) 13:30~16:00

テーマ; 「高良興生院の入院森田療法」—講演と座談会—



講演: 丸山 晋

東京慈恵会医科大学卒。KJサイコセラピー研究所所長
元淑徳大学教授・ルーテル学院大学教授
高良興生院医師



座談会: 今井壽正ほか入院体験者数名

今井壽正 略歴

順天堂大学医学部卒、順天堂大学医学部神経学客員教授、
東京臨海病院脳神経内科医師(元 同病院院長)
高良興生院入院体験

■会場 社会福祉法人かがやき会 就労センター『街』(まち) 3階
〒161-0032 新宿区中落合1-6-21

※1階がスワンペーカリー&喫茶カフェタウン

【最寄駅】西武新宿線「下落合」または「中井」駅、大江戸線「中井」駅から各8分

■定員 50名【予約制、先着順】

■参加費 1,000円(ただし、保存会会員は無料、随時入会受付)

■申込み 会員は同封のハガキにて。非会員は官製ハガキに住所、氏名、電話番号、出席の旨、明記の上、会場となる就労センター『街』内、「心の健康講座」あて送付のこと。下記メールアドレスからも可。

■問合せ 事務局 2階資料室(ただし、火、水、木、金、土曜の10時~16時)

☎03-3952-9975 Eメール; info@hozokai.net

ホームページ; <http://www.hozokai.net/> 「高良保存会」で検索

◎主催; 高良興生院・森田療法関連資料保存会

◎後援; 公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団

1 森田療法とは?

1919年頃、東京慈恵医大・初代精神科教授の森田正馬もりたしょうまにより編み出された我が国が世界に誇るべき神経症の治療法である。森田はフロイトと同時代人であり、この心理学の黎明期に、西では精神分析療法、東では森田療法が生み出されたことになります。

森田療法は、何かにとらわれて心が流れなくなる状態を日記指導などを用いて段階的に打破し、「あるがまま」の健康的・創造的な心的状態へと変化させていく治療法です。原法は家庭的入院療法ですが、現在は実施できる施設が少なくなり、外来での森田療法が主流です。(HPより)

2 高良興生院とは?

森田正馬の下で森田療法を学んだ高良武久(東京慈恵医大名誉教授)が1940年に設立した森田療法を専門とした病院。また、ここは、森田療法を学ぶ場でもあり、多くの森田療法家が育っていきました。1995年に閉院となった後は、院長の阿部亨先生が、近くに森田療法専門のクリニックを開き、診療を継続されました。

3 高良興生院・森田療法関連資料保存会とは

高良先生が1996年に亡き後、高良興生院の跡地の一部が「かがやき会」に寄贈され、そこに精神障害者の就労センター『街』が建設され、2000年から活動が開始されました。

この建物の一部に高良先生のご遺族から寄贈された貴重な図書等の資料を保存し展示する一室が設けられ、「高良武久・森田療法関連資料保存会」を組織し、記念室の誕生に至り、その活動を引き継ぐ形で「高良興生院・森田療法関連資料保存会」が新たにこの場を森田療法の普及と研究の拠点とし、活動を継続してゆくことになりました。

つきましては、この活動にご賛同される方の入会をお願いいたします。

- ・年会費 3000円
- ・ゆうちょ口座記号・番号
00130-7-46447
- ・加入者名
高良興生院・森田療法関連資料保存会

